

社会的交換における協力傾向と外見的魅力

高橋知里（北海道大学）、谷田林士（北海道大学）、山岸俊男（北海道大学）

Abstract: 本研究の目的は、社会的交換場面における行動と交換当事者の外見的魅力との関係について検討することにある。Takahashi ら (2004) では、ゲーム実験参加者の顔写真を、ゲーム実験には参加していない評定者に提示し、外見的魅力を評定させたところ、ほぼ一貫して男性写真については外見的魅力の評価と協力的・利他的行動傾向に負の相関関係が見られている。本研究の一つ目の目的として、Takahashi ら (2004) の追試を韓国で実施、本人の協力傾向と他者からの外見的魅力の評価の間関係を分析する。また、日本人評定者による外見的魅力と協力傾向の関係と同じパターンが見られるかを検討する。次に、これまでは評定者と評定対象は同一文化内（東アジア人）の参加者で分析されてきたが、他文化の評定者による評価と、評定対象の行動傾向の間にも関連が見られるかを検討する。実験から、日本人写真を用いた場合は、他文化の評定者による外見的魅力の評価と協力傾向の間に、負の関係が見られた。しかし、韓国人写真を用いた場合は、一貫して魅力と協力傾向には強い関連は認められなかった。